

埼玉県におけるアレルギー性疾患の 有症率と関連因子

出典 日本公衆衛生雑誌 (0546-1766) 56 巻 1 号 Page25-34 (2009. 01)
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2009150051>)

著者 松本隆二 他

調査地域 埼玉県

調査時期 2002 年

調査対象 全年齢

依頼数 3000 世帯

有効回答数 2368 世帯 (7395 人)

有効回答率 78. 9%

診断方法 自己申告 (医師診断)

有症率 4. 4%

男女別有症率 男 : 4. 4%、女 : 4. 4%

調査概要 埼玉県定住世帯とその家族を対象とシアレルギー疾患の実態と生活環境の
関連を調査した論文。食物アレルギーの有症率に男女差はなく、0~9 歳で
最も多く、60 歳以上で低かった。集合住宅群は戸建て群に比べ優位に有症率が
高かった。